

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	長崎県	事業実施主体	長崎県、雲仙市	地域再生計画名	信仰の歴史からの水産業振興計画
計画期間	平成28年度～令和4年度	評価責任者	長崎県土木部港湾課長、水産部漁港漁場課長、雲仙市産業部農業村整備課長		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績		指標総数	達成数	
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	五島市マグロ出荷量の増加	900t	H26	1170t	H30	1,765t (H29)	1350t	R3	2652t	○	最終目標を達成している。 ※最新の統計データであるR3の数値を採用
	指標2	五島市観光客の増加	400,282人	H26	467,481人	H30	409,539人	489,080人	R1	445,666人	△	増加傾向で推移していたものの、新型コロナウイルスの影響により、目標を若干下回った。一方、少しずつ回復（増加）傾向に転じているため、目標の達成が期待される。 ※新型コロナウイルスの影響が少ない、R1の数値を採用
	指標3	五島列島キリシタンクルーズ参加者の増加	969人	H27	1,500人	H30	4,608人	2,400人	R1	5,212人	○	新型コロナウイルスの感染拡大まででは、最終目標を達成している。 現時点では減少しているものの、影響がなくなれば、従来の数値に転じると予想される。 ※新型コロナウイルスの影響が少ない、R1の数値を採用
	指標4	雲仙市の漁業生産量の増加	275t	H26	275t	H30	299t (H29)	334t	R4	323t	○	施設整備により作業効率が向上し、目標値を達成できた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1	五島列島キリシタンクルーズ利用人数	969人	H27	1,500人	H30	4,608人	2,400人	R4	5,212	○	新型コロナウイルスの感染拡大まででは、最終目標を達成している。 現時点では減少しているものの、影響がなくなれば、従来の数値に転じると予想される。 ※新型コロナウイルスの影響が少ない、R1の数値を採用
	指標2											
③事業の進捗状況	事業名				整備量（その他の事業では取組内容）				事業の進捗状況に関する評価			
特別措置を適用して行う事業	港湾施設（玉ノ浦港） （越前地区）		計画	中間年度 (H30)	最終実績	計画8施設のうち、6施設の整備が完了した。（残工程：物揚場(-2.0m)(1)(改良)、物揚場(-2.0m)(2)(改良)） 計画のメインとなる防波堤の整備が完了し、港内静穏度が確保されたことから、陸揚げや準備作業時における利用者の安全性が確保されるなど、整備完了に伴う効果が発現している。 一部整備が残った施設については、次期計画に引き継ぎ、引き続き完成に向けて整備を進めている。						
	防波堤	80m	31m	80m								
	浮桟橋(1)	1基	0.8基	1基								
	浮桟橋(2)	1基	0.2基	1基								
（小浦地区）		1800m2	0m2	11,622m2								
航路(-4.0m)		14m	14m	14m								
船揚場(改良)		50m	11m	0m								
物揚場(-2.0m)(1)(改良)		168m	0m	0m								
物揚場(-2.0m)(2)(改良)												
（向小浦地区）		70m	44m	23m								
物揚場(-2.0m)(改良)												
港湾施設（相の浦港）		1基	1基	1基	計画9施設のうち、3施設の整備が完了した。（完了工程：可動橋(改良)、浮桟橋B(改良)、道路(改良)） ターミナルから市街地へのアクセス道路の舗装工事が完了し、人流・ぶつりゅうの利便性が向上するなど、整備完了に伴う効果が発現している。 一部整備が残った施設については、次期計画に引き継ぎ、引き続き完成に向けて整備を進めている。							
可動橋(改良)		170m	70m	135m								
岸壁(-7.0m)		360m	180m	120m								
物揚場(-2.0m)(改良)		50m	0m	0m								
物揚場(-3.0m)(1)(改良)		85m	0m	0m								
物揚場(-3.0m)(2)(改良)		1基	0.8基	1基								
浮桟橋B(改良)		1基	0基	0.1基								
浮桟橋C(改良)		1基	0.1基	0.4基								
浮桟橋D(改良)		910m	720m	910m								
道路(改良)												
港湾施設（柵島港）		1基	0.2基	0基	計画施設は、計画の見直しを行い、別事業を活用した整備を目指していく。							
浮桟橋(改良)												
漁港施設（京泊漁港）		1基	0基	1基	当初計画のとおり整備が完了した。							
浮桟橋		120m	0m	120m								
臨港道路		3基	0基	3基								
橋梁(改良)												
その他の事業	五島列島キリシタンクルーズ		地域活性化		新型コロナウイルスの影響により、一時期利用者の減少がみられたものの、回復してきている。離島間の世界遺産構成遺産を含む史跡を海上タクシーで巡回できるツアーであり、利用者の満足度も非常に高いものであり、リピーターも多く、地域活性化の一助となっている。							
	市道白這線道路整備事業		地域住民の安全性・利便性の向上		利用者の安全性を確保を目的として、白這地区と管轄地区を結ぶ市道白這線を平成25年度から平成30年度にかけて整備した。これにより、地域利用者の安全性が確保されたことに加え、隣接地区で行っているマグロ養殖事業で利用される大型車両の通行の利便性及び安全性の向上が図られた。							
	漁業担い手確保推進協議会		担い手育成		水産物の水揚げの減少や魚価の低迷に伴い、漁業所得減少と就業者の高齢化が進行し、新規漁業就業者の確保育成が喫緊の課題となっている。市・漁協、漁業者等で組織した協議会を設置し、研修や就業フェアへの出席等の新規漁業就業者の確保育成の取り組みを行った結果、平成28年から令和2年の5年間で計14名の新規漁業就業者を輩出した。							
	原城跡保存整備事業		世界遺産登録実現に向けた受入体制の強化									
計画外で独自に実施した事業												
④評価方法	まち・ひと・しごと創成対策懇話会を開催し、評価・検討等を行う予定としている。											
⑤事後評価の公表方法	長崎県のホームページに掲載											
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、港整備交付金を活用した港湾施設と漁港施設の整備を一体的に実施し、早期着手に向けた地元交渉や施設間の予算調整を行うなど、計画的な予算措置が実施できたため、整備の進捗が図られ、「五島市マグロ出荷量の増加」などの指標をおおむね達成している。一方、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、指標への影響も出てきており、これまでの取り組みに加えて、その他の事業等と連携し、指標達成に向けたさらなる取り組みを強化する必要がある。											
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、円滑に整備が進んでおり、「五島市マグロ出荷量の増加」などの指標をおおむね達成している。一方、一部の施設については、整備が完了していないことから、他の事業を活用した予算確保など、柔軟な対応により整備進捗を図る必要があると考えている。											